

## 第4回河南町地域公共交通検討会議 会議録（議事要旨）

- 日時 / 平成26年3月19日(水) 午後1時30分～午後3時30分
- 場所 / 河南町役場4階 大会議室
- 出席者 / 委員9名/欠席委員4名の代理者出席4名/事務局9名（うち記録2名）  
傍聴者11名/NPO地域デザイン研究会3名、
- 配布資料
  - ・議事次第
  - ・委員名簿
  - ・第3回会議録（議事要旨）
  - ・検討会議資料
  - ・平成25年度事業報告書
  - ・予算執行状況
  - ・「ひと・交通・まちづくり」ニュース第3号
- 議事次第
  1. 開会
  2. 挨拶
  3. 前回検討会議の振り返り
  4. 報告事項
    - ・河南町地域公共交通基本計画素案について
  5. 協議事項
    - (1) 河南町地域公共交通基本計画素案について
    - (2) 河南町地域公共交通計画事業の今後の方針について
  6. その他
  7. 閉会
- 協議内容
  - 視点
    - ・住みやすいあるいはいい町という視点
    - ・交通機関係として、自分たちで助けあって地域交通を確保する
    - ・みんなの地域として皆さんがどのような助け合いをするのか
  - 検討会議はかなり長い時間、継続的に検討していくべき河南町の大きな課題であるということが前提にあった上で、この計画素案を作っている。
  - 収支の算出結果（推計）について
    - ・北部南部にバス各1台であれば、かなり時間制限があるので、あまり細かいところまでは入っていない。台数が1台、これは増やすとなると経費がかさむのか。
    - ・本当に1700万円でいけるのかどうか。現在やまなみバスが走っているが、2台の2往復の2回の計8回で1100万円かかっているが、1700万円でいける根拠は何か。
    - やまなみバスの再編・見直しということで、循環バスを提案。現在、やまなみバスは2台で走っているため、基本的には1台をベースに考えている。運行時間で契約すると思うので、何回転まわすかというのは、交通事業者との協議事項になる。
    - (参考)「やまなみバスの現状契約」2台で1100万円/5コース/9時～17時で運行  
「町内循環バスの運行シミュレーション」  
運行時間帯：8時台～19時台まで(30分に1便)

### ■実証実験の経費について

- 平成 27 年 1 月にやまなみバスの契約が切れるので、これを活用してその費用をベースに、実証実験をすることを町として支援をする。本当に乗るのか、実証実験やってみたが空気だけ運んでいるだけだということになれば、この先バスはないですという覚悟でやらなければいけない。

### ■バスの検討ルート案について

- 運行路線[北部・南部 循環バス]で、もう少しルートを増やしてほしいという住民の意見があったなら、どうするか。
- 基本は 30~40 分で一周したい。住民からはここも走らせてほしいという要望は出ると思う。そうすると、運行延長・運行時間が長くなる。ある程度選択してもらわないといけない。大きい需要のあるところは、しっかり乗っていただけることが予想されるので、それをベースに考えていただきたい。
- デマンド型のメインルートが、平石、持尾、河内、青崩となっているが、他からも要望が出た場合にどういう扱いになるのか。
- 今回はあえて北部・南部という需要の多いところ、さくら坂、大宝あるいはその周辺の地域をメインにしたルートになっている。
- バス停が設定できないというところが河南町にはかなりあると思う。意外と好き勝手にルートを引けないのではないかと思う。議会のニュースなども見ていると、道が狭く、物理的に無理なところも出てくるのではないかと思う。「道路の幅員」「バス停の幅」「バスのサイズ」が重要である。
- バスのルートから漏れたところについてはどうするのか、検討ばかりではなく、具体的な提案をし、それで住民の賛同をもらって実証実験をするようにしてほしい。
- 「主な評価・検証項目」で、可能であれば経由ごとの乗降人員をとらえたいうえで、平成 27 年の 2 月の実証運行ではとりあえず住民側の要望のある場所、バスが入る場所、停留所を設けられる場所などすべて走らせ、乗降人員がゼロのところについては、実証実験が終わり次第終了、平成 27 年の 2 月にどうしてもバスが入れない場所やバス停が設けられない場所についても、デマンドタクシーを手配するという流れでいいのではないか。大阪市の赤バスが廃止になってしまったのは、住民の意向が全て反映した背景があると聞いている。利用のない場合は廃止するという条件を走らせれば、住民にも納得してもらえるのではないかと思う。そうすればバス路線も運行時間も無駄が出ないし経費も削減できる。ただ、1 年目は経費がかさむだろう。
- 河南町の場合は、住んでおられるところが限定され、自治会などでわかりやすくなっているのので、皆さんがバスに乗ると言うかをお聞きする。

### ■まちづくりの観点から

- 今年度さくら坂で「集会所の利用活性化事業」を河内地区内の自治会と連携し、使われていない集会所に、人を集めて交流を図りましょうと「コミュニティカフェ」という喫茶店を開いた。バス停の設定にあたり、バス停を電車の駅と考えると、駅には休憩所や喫茶店と飲食、買い物するところもあるので、集会所をバス停の駅という考え方にして、待ち時間を喫茶店のお茶にしたりすることができる。人を乗せるところを一つにまとめて、集会場の活性化も同時にすれば、まちづくりも変わってくるのではないか。いろいろなところと連携しながら進めていくのがいいのではないかと思う。

### ■住民説明会、住民意見の反映

- 4~5 月には住民意見の反映とあるが、各地域でどういうふうに説明をするのか。役場の方からするのか。
- 全体でやった方がよい

- 全体会議としては、以前アンケート調査後に全体報告をやまなみホールで、シンポジウム的な方法で実施していることもあり、役場の会議室あるいはホールを借りて、何らかの方法で住民の方にこの素案の報告会があるので来ていただけないか周知をして報告会を実施し、理解してもらった上で、地域に限定した議論を行い、その次にワークショップをどの地区にどういう段階で入っていく。
- ワークショップを開き、公共交通というのは大事ということを理解してもらい、そこでどうい  
うバスが必要かというような議論をしていった方が、実際の住民の意見が聞けるのではないか。
- ワークショップをやると、ファシリテーターは誰がやるという問題が出てくる。ファシリテ  
ーターで会議もゴロっと変わってしまうので、十分考慮して、どのような地元の入り方がいいの  
か検討しないとイケないと思う。

※ファシリテーター[facilitator]  
(地域のコミュニティなどの組織の会議などでグループ活動が  
円滑に行われるように、中立的な立場の役割を担う人)

## ■PR 動画の作成

- 「何をやっているの？」といつも聞かれるが、DVD などがあると、簡単でわかりやすく伝えら  
れるかと思う。文字が多く書かれているものは読む人と読まない人がいると思う。
- 大学放送部映像学科では、大学や企業の CM などを実際に授業の中で作っているので、15~  
20 分くらいならば一週間くらいあれば学生方が作ってくれると思う。絶対入れてほしいとい  
うような台本があれば、大学のスタジオにきてもらい、収録して動画にすることはできる。
- たくさんの方が受け入れやすいものでPRすれば良いと思う。
- ワークショップに行ったときに、共通のDVDを作っておいて、集会所でまずこれを 20 分流  
してもらおう。そのあとで自治会の役員や交通に取り組んでいる方でビデオを見てどう思うかな  
どの意見集約をしてもらおうことでもいいかと思う。

## ■ルートが有償となった際についての注意事項

- 有償と無償、有償はお金がいって無償はタダなのだろう、他に違いはあるのかというのが多く  
の住民の意識だと思う。
- 有償と無償については、お金がいるかいないかという違いになる。  
運輸局としては、基本的に路線バスを使ってください。それがだめならコミュニティバスなど  
で何とかしましょうという話になる。  
一部の時間帯において、バスが走っていないという空白の時間帯を循環バスが補うという考え  
方で、金剛バスさんのお客さんは乗らない時間設定にしたり、乗り継ぎポイントをつくり、金  
剛バスと循環バスが相互に利用できるような時間設定にしてみたりしていただけたらと思う。
- 有償運送するとなると、乗り合い免許などを持っていないとイケないか。
- 運送業法 79 条では、乗り合い免許はいらない。
- あとは金剛バスさんとの協議になり、交通継接点、コンビニ周辺等、ここまで循環バスが来て、  
ここから金剛バスに乗り換えてもらっていく、金剛バスの乗客も増えると思うので、増えるな  
らば増便しようかということにもなるかもしれない。

## ■住民の意識改革

- 住民の方の意識改革というのは大変重要で、わざわざ車でなく路線バスで済むときにはバスに  
乗るとか、多少不便でもバスに乗ろうかという意識を、どういうやり方をすれば住民の方がな  
ってくれるのか。
- バス本数が少ない、バスの定期代と駐車料金を比べたら、駐車料金の方が安いところがある等  
のことから、通勤の方の多くはパーク&ライド\*で、市内へ出かけて行っている。また、所要時  
間も早く、帰宅時刻が遅くても、車でそのまま帰れるという状況がある。  
(例：駐車料金が安いところ：1日500円/月極5~6千円)  
\*パーク&ライド・・・駅近くの駐車場に車をとめて、公共の交通機関を利用する)
- さくらバスの実験で、お友達と話をしながら買い物にいけるからバスを利用するということが  
ある。集まって、お友達をつくって利用する。

→一周 30 分が理想ということだったが、南部循環ルート路線でいくと時間がかかると思う。多少煩雑になるかもしれないが、平日と週末では少しルートが変わる等、柔軟に考えないといけない。

■その他

- 行政に交通マップをつくっていただくのもひとつの方法かとも思う。
  - 緑ナンバー・白ナンバーの扱いを当初から行うのか、違う形で行うのか。
- できれば実証実験の段階で、白ナンバーの有償運行をして、本格的な実施まで運行してもらえたらと思う。

以上